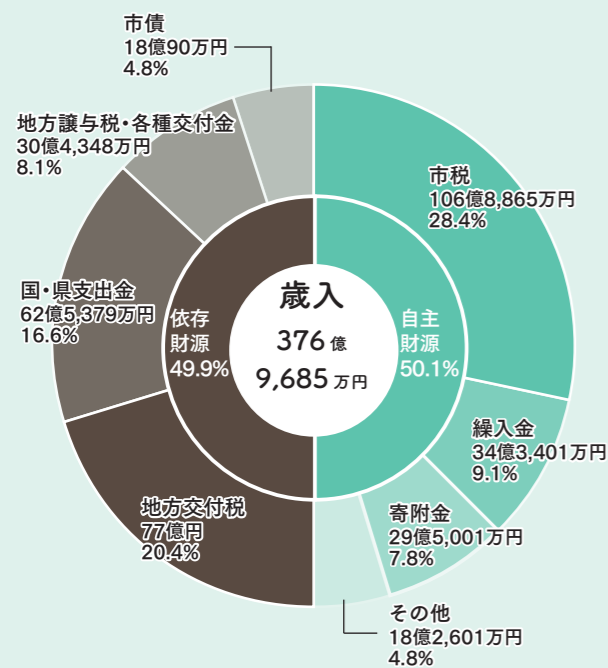


# 燕市の 一般会計当初 予算

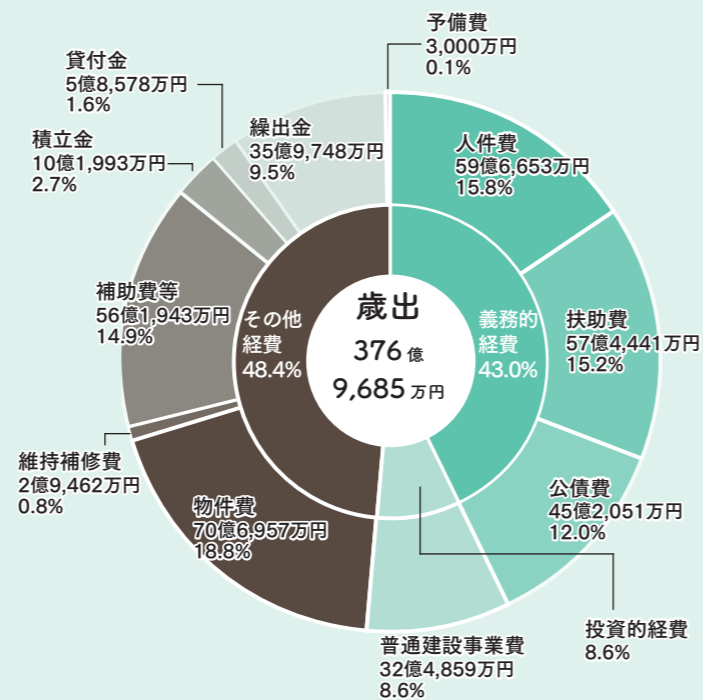
総額 **431億9,000万円**  
 実質的な  
 予算規模 **376億9,685万円**

一般会計当初予算の総額は、431億9,000万円です。借換分を除く実質的な予算規模は、前年度比7億8,846万円減の376億9,685万円となっています。また、令和4年度の国庫支出金を活用した「繰越事業」18億5,299万円を合わせた執行ベースの予算規模は、395億4,984万円と合併後最大となっています。

## 歳入の状況



## 歳出の状況 (性質別分類)



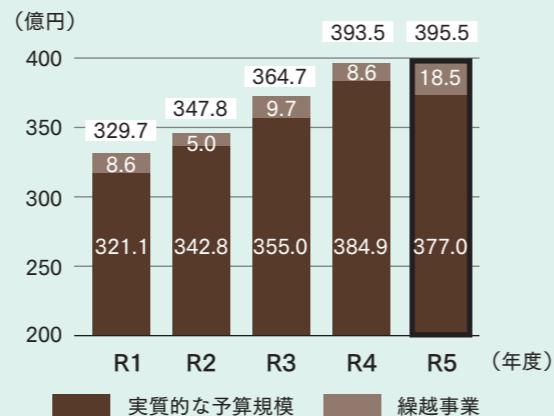
## 用語説明

自主財源 … 市が自主的に収入できる財源  
 依存財源 … 国または県などから収入される財源  
 義務的経費 … 支出することが義務付けられている経費  
 投資的経費 … 道路や施設などの整備に要する経費  
 借換債 … すでに発行した市債を借り換えるもので、借入額と返済額を歳入歳出同額で予算計上

## 一般会計当初予算

区分	予算額	前年度比
一般会計	① 431億9,000万円	▲ 5.2%
①のうち借換分	② 54億9,315万円	▲ 22.2%
実質的な予算規模	①-② 376億9,685万円	▲ 2.0%
繰越事業	③ 18億5,299万円	115.3%
執行ベースの予算規模	①-②+③ 395億4,984万円	0.5%

## 執行ベースの予算規模の推移



～ 第3次燕市総合計画の初年度、幸先の良いスタートを！～

# 令和5年度 施政方針

3月2日、市議会定例会で市長が施政方針演説を行いました。その中から、当初予算額や重点施策などポイントを絞ってお知らせします。

## 昨

年を振り返りますと、長引くコロナ禍の影響がある中、ロシアのウクライナ侵攻に端を発するエネルギー価格や物価の高騰が、追い討ちをかけるように我々の生活に大きく影響を及ぼした1年でした。こうした足元の課題に対応するため、本市では、立って続けるため、本市では、水道料金の基本料金を8カ月間減免やフェニックスクーポン第4弾・第5弾の発行といった市民生活や経済活動を下支えする対策を講じつつ、住民税非課税世帯への光熱水費等の助成、子育て中のすべての世帯に対する現金給付、学校等給食費の負担軽減など、低所得者や子育て世帯への

## そ

うした中、コロナ禍からの社会経済活動の回復が進みつつあり、自主財源の根幹をなす市税収入は、感染症拡大前の水準には回復していないものの緩やかな持ち直しの動きがみられています。しかしながら、電気料金等価格の高騰により、公共施設においても維持管理経費が増加しており、施設の老朽化対策や社会保障関

## 新

たに迎える令和5年度は、第3次燕市総合計画の初年度にあたる大切な年になります。先人たちが築き上げてきた燕市を次の100年

支援、さらには公的サービス事業所等に対する燃料・電気料金高騰への支援のほか、農業者に対する肥料価格高騰への支援など、きめ細かく本市独自のさまざまな対策を打ち、影響緩和に努めてまいりました。

連経費の増といった従前からの財政負担の増加要因も相まって、厳しい財政状況が続いています。一方、昨年は大河津分水通水100周年の年ということでも、30以上に及ぶ事業を行い、大河津分水建設の意義や果たしてきた役割、そして建設に携わった長善館の門下生をはじめとする多くの先人たちの情熱や苦勞、功績といったものを市内外に広く発信することができた年でもありました。

施政方針の全文はこちら



に引き継いでいくための幸先の良いスタートを切れるよう、限られた経営資源を効率的・効果的に配分する方針のもと、「定住人口戦略」、「活動人口戦略」、「交流・応援(燕)人口戦略」の3つの人口減少対策を柱に据えた予算編成を行いました。特に、「子育てするなら燕市」と評価される施策の展開と「地域社会のDX」と「脱炭素社会の推進」を重点に、急速な人口減少や本市を取り巻く社会潮流に対応した各種施策に取り組んでまいります。

●子育てするなら燕市で  
と評価される施策の展開

●地域社会のDXと  
脱炭素社会の推進

を2大重点施策として取り組んでまいります。





重点施策①

# 「子育てするなら燕市で」と評価される施策の展開

「子育てするなら燕市で」と評価してもらえるよう、結婚、妊娠・出産、子育て、教育といったライフステージに応じた切れ目のないさまざまな子育て支援施策を展開します。

**新** プレコンセプションケア事業  
【予算額】16万円

将来の妊娠・出産に向けた健康づくりの大切さなどを考えるきっかけづくりとして市内在学の高校3年生や市内在住・在勤の若者を対象に、助産師や産婦人科医による妊娠前のヘルスケアセミナーを開催します。

**拡** 男女の出会いサポート事業  
【予算額】148万円

男女の出会いの場として婚活イベントを官民連携で開催するとともに、結婚・妊娠・出産をはじめとした人生設計をテーマとしたセミナーを新たに開催します。

- ・ライフデザインセミナー
- ・婚活イベント「つばコン」
- ・婚活コーディネーターによる相談
- ・応援企業の募集 など

**新** 産婦健康診査助成事業  
【予算額】500万円

出産後2週間健診と1カ月健診にかかる費用の一部を助成します。

- ◆助成額  
各健診につき上限5,000円

**拡** 妊産婦医療費助成事業  
【予算額】3,059万円

妊産婦が負担する医療費について、その全額を医療機関の窓口で助成し、経済的な負担の軽減を図ります。

- ◆受給者証のデジタル化  
令和5年10月予定



**新** 妊産婦タクシークーポン事業  
【予算額】600万円

妊婦・産婦健診受診時の移動を支援するため、タクシークーポンを発行します。

- ◆妊婦1人につき1万2,000円  
(1,000円券×12枚)

**拡** 産後ケア事業  
【予算額】53万円

出産後の体調回復期において産後ケアサービスを受けやすくするため、サービス利用料に対する助成額を増額します。

- 〈市民税非課税世帯〉(増額後の金額)
- ◆宿泊型 1万5,000円
- ◆デイサービス型 8,000円
- 〈市民税課税世帯〉(増額後の金額)
- ◆宿泊型 1万2,500円
- ◆デイサービス型 5,500円

**新** 出産・子育て応援事業  
【予算額】8,439万円

妊娠から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」と、出産育児用品の購入や子育て支援サービスの利用にかかる負担軽減を図る「経済的支援」を一体的に実施します。

- ◆出産応援給付金  
妊婦1人あたり5万円
- ◆子育て応援給付金  
子ども1人あたり5万円

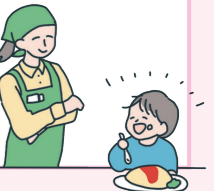
**拡** 子どもの入院医療費の全額助成  
【予算額】4億2,688万円

18歳までの子どもを対象に入院医療費助成を全額助成に拡大し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります(10ページ参照)。

- ◆1日あたり自己負担  
1,200円(従来)→0円(全額助成)
- ◆開始時期：令和5年4月診療分から  
(受給者証更新までは償還払い)

**臨** 給食費保護者負担の軽減  
【予算額】3,720万円

園・学校における給食材料費の価格上昇相当分を市が負担することで給食費を据え置き、保護者の経済的な負担の軽減を図ります。



結婚



妊娠

出産

子育て



就園  
就学



進学  
就職



**拡** 不妊治療費助成事業  
【予算額】1,266万円

保険適用となった不妊治療に要する費用について全額助成を行い、早期の治療開始と経済的負担の軽減につながります。

**新** マイナンバーカード  
連携型電子母子手帳  
アプリ導入事業  
【予算額】200万円

マイナンバーカードと連携可能な母子手帳アプリを導入するとともに、導入済みの健診等予約システムも活用し、子どもの予防接種記録や健診結果などの健康情報を集約化します。

- ◆導入時期：令和5年10月予定



**新** 県央基幹病院での病児・  
病後児保育事業  
【予算額】544万円

病気の児童や回復期にある児童の預かりを、これまでの小児科医院に併設した保育施設に加え、三条市との連携のもと、令和6年3月開院予定の県央基幹病院でも新たに実施します。



**新** 全天候型子ども遊戯施設  
建設事業  
【予算額】7億2,763万円

子育て環境のさらなる充実を図るため、季節や天候に関わらず、子どもたちが体を使って思いっきり遊ぶことができる全天候型の屋内遊戯施設を整備します。令和5年度から本体工事を開始し、令和6年度中のオープンを目指します。

- ◆建設予定地：燕市大曲地内



▲外観(イメージ)

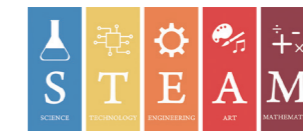
**拡** 燕らしい特色ある教育

- ・つばめ長善プロジェクト
- ・ゆめみらいスポーツ教室 など

**新** スティーム  
STEAM教育推進モデル事業  
【予算額】250万円

急速に発展する技術や多様化する社会に対応できる人材を育成するSTEAM教育を推進するためのモデル事業を、民間企業との協働により実施します。

※STEAMとは、科学・技術・工学・芸術・数学の5分野のこと



**拡** つばめ若者会議事業  
【予算額】387万円

「エンジョイ活動部」や「燕市役所まちあそび部」をはじめとする若者の主体的な取り組みをサポートします。







## 脱炭素社会の推進

**新** 自家消費型太陽光発電  
利用促進補助事業  
【予算額】 500 万円

市内事業者が、自家消費用に設置する太陽光発電設備に対して補助金を交付します。

**新** メガソーラー発電所の  
設置  
【予算額】 ゼロ予算

市内2カ所目となるメガソーラー発電所が、クリーンセンター館野において9月から稼働します。

**新** MONO<sup>2</sup> (モノモノ)  
リユース事業  
【予算額】 24 万円

ごみの減量化、再利用化につなげるため、新たに不用品のフリーマーケットや学用品のリユース会を開催します。



## その他の主要事業



**新** 保育士等修学資金貸付事業  
【予算額】 601 万円

市内で保育士を目指す学生に対して、一定の要件のもとで返還が免除になる修学資金の貸し付けを行います(19ページ参照)。

**新** 医療用補正具  
購入費助成事業  
【予算額】 272 万円

がん患者の経済的・精神的な負担軽減を図るため、胸部補正下着やウィッグなどの購入費用を補助します。

**新** 高齢者の権利擁護  
アドバイザー事業  
【予算額】 27 万円

県弁護士会と地域包括支援センターとの連携により、高齢者の権利を守る体制の構築を図ります。

**新** 燕青空即売会  
ツアー造成支援事業  
【予算額】 100 万円

燕青空即売会をコースに組み込んだ募集型バスツアーにかかる経費の一部を補助します。

**新** ヤングケアラー  
サポート事業  
【予算額】 14 万円

ヤングケアラーへの支援方法の検討や、支援に関する周知・啓発を行い、理解促進を図ります。

**拡** つばめ<sup>ジョブ</sup> JOB サポート事業  
【予算額】 829 万円

多様な人材が活躍できるよう、新たに市内企業の職場環境改善への支援や人材マッチングを促進します。



**新** 燕ソウルフード観光  
プロモーション事業  
【予算額】 300 万円

文化庁の「未来の100年フード」に認定された背脂ラーメンを観光資源としたキャンペーンを実施します。



# 「地域社会のDX」と「脱炭素社会の推進」

感染症拡大を契機とした社会全体のデジタル化、オンライン化の進展に対応するための「地域社会のDX」を進めるとともに、地球温暖化対策につながる「脱炭素社会の推進」に取り組み、次の100年に引き継いでいきます。



## 市民サービスのDX

**新** 市民窓口の  
キャッシュレス化  
【予算額】 260 万円

市民課と税務課の窓口キャッシュレス決済端末機を導入し、市民の利便性向上を図ります。

◆導入時期：令和5年6月予定

**新** 電子契約システムの導入  
【予算額】 71 万円

現在紙で行っている契約業務をオンライン化することで、契約相手方の利便性向上と事務処理の効率化・コスト削減を図ります。

◆導入時期：令和5年10月から順次

**新** きららん号予約  
システム更改事業  
【予算額】 738 万円

デマンド交通の受付体制に24時間受付できるWeb予約を導入し、電話受付の混雑を緩和しながら利便性を向上させます。

◆導入時期：令和5年11月予定

**新** 登降園状況  
確認アプリ導入事業  
【R4 繰越予算額】 1,542 万円

二次元コードによる登降園の登録やアプリからの遅刻・欠席連絡が可能なシステムを導入し、保護者の利便性向上と保育士の業務負担軽減を図ります。

## 地場産業DX

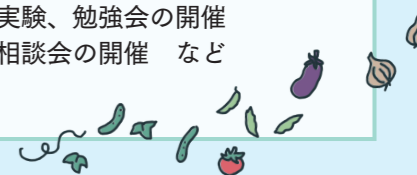
**拡** 中小企業DX推進支援事業  
【予算額】 2,033 万円

IoT・AI・センシング、クラウドサービス等を活用した業務の自動化・効率化など、市内中小企業のDXを支援し、生産性向上や競争力強化を図ります。

**拡** 先進技術活用推進事業  
【予算額】 71 万円

ドローンやICTをはじめとした先進技術の活用による農作業の効率化・省力化を推進します。

- ・実証実験、勉強会の開催
- ・導入相談会の開催 など



## 行政運営のDX

**拡** DX推進体制の強化  
【予算額】 2,195 万円

「燕市DX推進計画」に基づき、全庁横断的なプロジェクトチームを立ち上げるとともに、専門の外部人材を増員するなど、DX推進体制の強化を図ります。

**新** 介護保険認定調査  
モバイル導入事業  
【予算額】 115 万円

介護保険の認定調査においてタブレット型のデバイスを導入し、介護認定の迅速化を図ります。

**新** 在宅医療・介護連携  
アプリ導入事業  
【予算額】 1,697 万円

燕・弥彦圏域の医療機関や介護事業所などが、患者の受療状況や服薬情報等を共有できるツールの導入とICT導入に伴う人員の増員を支援します。

**新** 自治会コミュニティ  
運営応援事業  
【予算額】 78 万円

デジタルを活用した自治会業務の負担軽減を目指し、その取り組みの第一歩として、LINE活用セミナーなどを開催します。

## DX人材育成

**新** STEAM教育推進  
モデル事業  
【予算額】 250 万円

※4ページ参照



**拡** つばくろロボキッズ教室  
【予算額】 83 万円

プログラミング的思考を働かせながら、自律動作型ロボットを操作する活動を通して、プログラミングに対する興味・関心や学び続ける意欲を高めます。